JRTU JR九州労組ニュース
No. 25
2024 年
1 月10日
九州旅客鉄道労働組合
発行責任者　吉田祥司

駅関係職場全分会代表者会議を開催！

挨拶を行う吉田中央執行委員長

ＪＲ九州労組は１月１０日、ＪＲ博多シティ会議室において駅関係職場全分会代表者会議を開催した。会議には、中央本部をはじめ地本・支部・関係分会の代表者の計３６名が出席し、今後予定されているＪＲ九州サービスサポート社員の転籍や地域社員の社員化に伴う組織課題とその対応について、意思統一を図った。

冒頭、吉田祥司中央執行委員長は挨拶で、至近の情勢やこの間の取り組みについて触れ、①ＪＲ九州サービスサポート社員の転籍については組織化を着実に推進していくこと、②地域社員の社員化については、組合員の不安・声に寄り添い、引き続き課題解決を図っていくことの重要性について示したうえで、今後想定されるさまざまな組織課題の解決に向け、組織の総力を挙げ一丸となって取り組む必要性を訴え、参加者全員の協力を要請した。

仲間とともに、よりよい労働環境の構築へ

関係職場の代表者と会議の様子

議事では、鎗光俊勝中央執行副委員長（組織部長）がＪＲ九州労組の組織現状を報告したうえで、①駅体制の見直しに伴う組織課題とその具体的な対応、②地域社員の社員化に伴う組織課題とその具体的な対応について提起し、各地本・支部からは、この間の取り組み報告をはじめ中央本部への要望、分会体制の見直しの必要性等について多くの意見が寄せられた。

中央本部は、出された意見を踏まえ、今後の取り組みに反映させていくとしたうえで、これらの組織課題に対しては中央本部、支部・地本、分会が一体となった取り組みを展開し、労働組合の存在意義をしっかりと示していくことが重要であると強く訴え、その想いを会場全体で共有した。

組織の総力を挙げて諸課題の解決に取り組もう